

第16回北海道高等学校バレーボール新人大会

『新型コロナウイルス感染症感染者のさらなる拡大時の対応について』

北海道バレーボール協会

北海道内での新型コロナウイルス感染者数の増加傾向が続き、11月7日に道の警戒ステージが「ステージⅢ」に移行された以降、集中対策期間が11月末から数次にわたり延長され、先の国の緊急事態宣言を踏まえ、強い危機感を共有して集中的に取り組む施策として2月15日まで延長されています。

さらに、現在道では、

「道としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の抑制に向けて、集中的な対策を講じているところであるが、今後の状況によっては更に強い措置を講ずる。

緊急事態宣言は国において総合的に判断することとされているが、道内の新規感染者数が国のステージⅣ（10万人当たり25人/週）を超えた場合には、国に対して緊急事態宣言に関する速やかな検討について要請する。」

としています。

当協会では、『第16回北海道高等学校バレーボール新人大会』についても、最大限のコロナ対策を講じて、大会を構成する全ての方たちの安全を重視し実施することとしております。

一方、今後の状況によっては大会開催中止の判断をすることも想定し、

- (1) 警戒ステージⅣを超え、道から国に対しての検討要請が発出
- (2) 知事、会場管理者等からイベント等の中止措置等が発出

を基準として、大会前日までに発出された場合は大会すべてを、大会開始以降であればその翌日以降の大会を中止します。

すでに開催要項及び代表者会議資料等により感染症対策を指示しておりますが、大会開催にあたっては、生命・健康、安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除し、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフが安全に活動できる環境を提供できるよう最善を尽くして実施してまいります。

関係各位の皆様には、急遽の変更事項等により大変ご迷惑をお掛けすることとなりますが、上記、感染防止対策強化にご理解ご協力いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

2021年1月16日